

第24回太平洋諸島フォーラム(PIF)域外国対話における 中野外務大臣政務官ステートメント(仮訳)

平成24年8月31日
ラロトンガ, クック諸島

ヘンリー・プナ首相閣下,
出席者の皆様,

(1. 冒頭)

- ここラロトンガを訪れることができ、大変嬉しく思います。日本がクック諸島を国家承認した2011年3月以来、クック諸島を公式に訪れた初の日本の政務レベルとして、プナ首相及びその政府からいただいた歓待に、謝意を表したいと思いません。
- 2011年3月11日に我が国を襲った東日本大震災から、1年半が経過しました。国際社会からの心温まる支援のおかげで、我が国は、復興に向けて着実に前進してきています。この機会に、改めて、世界からの寛大な支援に感謝申し上げるとともに、この経験を国際社会と共有することが我が国の使命であることを強調させていただきます。

(2. 太平洋・島サミット)

- 我々島国の人間は、本日、第6回太平洋・島サミット以来、3カ月ぶりの再会を果たしました。「沖縄キズナ宣言」を採択したこのサミットで我々が共有したことについては、ここに集う我々はよく承知しているため、この場で宣言の詳細をなぞる必要は無いものと確信します。
- 日本は今、この宣言の実行を、フォーラムに参加する島嶼国との緊密な協議の下に、力強く推進しています。第6回太平洋・島サミットの主要な成果の実施状況を評価するため、我が国は、第2回中間閣僚会合を2013年中に主催します。我が国としては、各島嶼国からの積極的な意見と協力をいただき、中間閣僚会合が、2015年にも開催される第7回太平洋・島サミットの枢要な推進力となることを希望します。
- 本日は、「沖縄キズナ宣言」のうち、海洋問題、持続可能な開発という、本日の議題に関連する2つの重要な要素について、再確認したいと思います。

(3. 海洋問題)

- 責任ある海洋国家として、日本は、海洋資源の効果的管理及び持続可能な利用に向け、特にこの分野における島嶼国の能力強化への協力を含めて、積極的

な役割を果たしていく決意です。第6回太平洋・島サミットでは、地域の漁業資源から得られる利益を長期にわたって最大化し確実なものとするのが重要であることを確認しました。これは、保護及び持続可能な管理イニシアティブへの島嶼国の更なる参加を通じて、達成することができます。

- このような観点から、我々は、確立されたルールに基づいて、海洋環境や資源の持続可能な利用を確保する責任が我々すべてにあることを強調する必要があります。我々は、「沖縄キズナ宣言」でも示されたとおり、海洋秩序に関する基本的枠組みである国連海洋法条約の重要性を改めて喚起し、太平洋の平和と安全を維持する上で国際法が果たしている重要な役割を再確認する必要があります。

(4. 開発協力)

- 日本は、より良い世界を築くために、我が国が直面する大きな困難と挑戦にも関わらず、国際社会が一体となって取り組むべき目標としてミレニアム開発目標(MDGs)を非常に重視しつつ、開発協力に取り組んできました。
- 日本は、2015年以降の開発目標について、非公式な政策対話の場を設け、国際的な議論を主導してきています。2015年以降の国際開発目標に関するハイレベル・パネルには、菅直人・前内閣総理大臣が参加します。我が国としては、島嶼国の立場も十分に参考にしつつ、国際社会の新しい現実に対応した新たな目標づくりに向けて指導力を発揮していきます。
- この地域における効果的な開発協力に向けた援助協調を促すために、我が国は、実際の手続がドナーや島嶼国の過度の負担になるべきではないと考えます。こうした観点から、日本は、ケアンズ・コンパクトに含まれる諸原則を支持しています。また、透明性を向上させるため、ケアンズ・コンパクトその他の関連する援助協調の枠組みに、新興ドナーを含む開発パートナーが参加することを、引き続き促していきます。
- 我が国は、特にこの地域にとって、気候変動問題に取り組むことの重要性を改めて強調し、この点について、野田総理は、第6回太平洋・島サミットにおいて、もっとも脆弱な太平洋島嶼国のために、2013年以降も切れ目のない支援を行っていく意図を表明しています。
- 我が国は、第6回太平洋・島サミットに参加するよう米国を招待し、同国の意見は同行事の成果に大きく貢献しました。この文脈において、日本と米国は、今次PIF域外国対話の機会に、太平洋島嶼国地域における日米の援助協調について新たな共同文書を発表する予定です。我が国は、この地域における米国その他同様の考え方を持つ諸国の関与の強化を歓迎します。

出席者の皆様、

(8. フィジー)

- 最後に、この地域の平和と繁栄のために極めて重要な課題、即ちフィジーの民主化について言及させていただきます。私は、ラロトンガ来訪前にフィジーを訪問し、同国の指導者たちと率直で建設的な議論を行いました。こうした指導者たちが直接私に詳述した、フィジーによる民主化に向けた最近の努力を、日本は歓迎します。私はまた、憲法制定プロセスや、選挙人の電子登録を含む2014年までに予定されている自由で公正な選挙の準備に関する、同国の努力を歓迎します。日本は、こうした流れが継続・一層強化されることを強く期待しています。
- 我が国は、対話と協力の強化が、フィジーの一層の民主化と安定化を促すことに役立つと信じます。我が国は、この地域の平和と繁栄のために、フィジーとの二国間のみならず地域的及び多数国間の協力を強化すべく、他の島嶼国と一層の協力を続けていきます。

御静聴、ありがとうございました。

(了)